

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 16

- ★ 来館者の方からの質問事項をもとに昭和館図書室の図書を紹介します。
(書名の後の()内の数字は請求記号です。)

問 当時の労働者賃金について知りたい。

答 キーワードとして、「賃金」「賃銀」「給料」等で検索してみます。
また、軍人や公務員の場合、「俸給」でも検索してみてください。

1. 「給料」というキーワードで検索した場合。

図書・雑誌 → 図書 → ことば → 給料 を入力すると
『家計調査結果の概要』(365.4 So55)
(この図書は昭和16～17年のデータです)
『戦後値段史年表』(337 Sh99 開架一般)

など101件該当します。

2. 「賃金」というキーワードで検索した場合。

図書・雑誌 → 図書 → ことば → 賃金 を入力すると262件該当します。
さらにこの一覧画面の右上の絞り込みボタンを使い、
分類 → 3:社会科学 → 6:社会 → 4:労働経済、労働問題と入力すると
『労働統計実地調査報告 第4巻』(366 R59 4)
(この図書は昭和4年についてのデータです)
『労働市場と賃金形態』(366.4 F88)

など27件になりました。

3. また、国勢調査などの文献にも当たってみるのもよいと思います。

『完結昭和国勢総覧 3』(R351 Ka56 3)
『昭和国勢総覧 下』(R351 Sh97 2 開架参考)

など該当するものがあります。

※ 但し、具体的に何年の賃金についてとなると該当する図書がない場合もあります。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・ ⑭

前回に続いて、変な本の2回目です。前回の斉藤昌三等の本は、変と言っても正統派の変ですが、今回はちょっと変わった本を探してみます。

まず、何が変かという点、「普通ではない」事が第一です。そこで考えると、まず、「形の変な本」でしょうか。昔本の隅を斜めに切って八角形にした本がありました。宮武外骨の本で、自分の亀吉と言う名から、亀の甲羅をイメージして作ったようです。因みに外骨という名も、外骨格の亀からの命名です。

1975年には、稲垣足穂が、本の真中に穴の開いた本「人間人形時代」を出しています。足穂は、「この本を重ねて、穴から星を見るんだ」と言ったとか。この本、定価が年号と同じ1975円でした。

足穂といえば、「素材の変な本」を出しています。1970年に出した「地を這う飛行機と飛行する蒸気汽関車」の特製本は、表紙が銅板で、ずっしりと重みがあります。もちろん表紙は蝶番で止めてあり、一見銅の小箱の様です。発行当時大学生だったので、とても買えませんでした。25年後にオークションで手に入れたときは、チョット嬉しかったものです。三島由紀夫の特製本には、表紙がガラスという、落としたり割れる本がありました。前回紹介した斉藤昌三には、蓑虫の蓑をはいで表紙を作った殺生な本まであります。

特に変ではないですが「大きな本」も驚くようなものがあります。一般に販売された図書としては、最近出版されたヘルムート・ニュートンの写真集が重さのレコードホルダーでしょう。なんと1冊30キログラム！！。2人がかりで運んできた運送屋さんが、「中身は何ですか？重いですねー」とぼやいていました。

さて、次回からは、再び昭和館の書庫に戻って「もう一冊」の旅を続けます。そーだなー、年鑑なんか面白いのが有ったなー・・・。

(午睡)

ー図書室からー

暑さ寒さも彼岸まで…。今年は猛暑が続き、多くの被害をもたらした夏でしたね。ミレニアムイヤーもあと3か月となりました。

*「昭和館館報」が発行されました。

昨年3月末に開館した昭和館の平成11年度事業報告である「館報(第1号)」が発行されました。図書室開架、新着雑誌棚にありますので、ご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 16 2000年9月24日 発行 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
--